



5年生『アースランチフェスティバル』に挑戦する！

『アースランチフェスティバル』、初めて聞く人が多いと思いますが、本年度から市内全小学校の5年生が参加する教育委員会主催の事業です。アースランチの一番重要な点は「自分たちで栽培したものを使って、今まで見たことも、食べたこともない新しい料理を工夫して考え出すこと」です。そのために子供たちは校内に農場を作り作物を栽培し、地域の人たちの力も借り、フェスティバルに向けて全力で取り組んでいます。また、地域（細江）の誇りという点にも着目し、料理ばかりでなくこの点も発表に取り入れようと「ほうせん館」などの見学もしました。

コミュニティ・スクール関係者も栽培支援や地域人材の紹介、見学時の安全を図るなど全力でサポートしています。

採点基準は、料理のおいしさ30点、どうプロデュースしたか30点、料理の成り立ち30点、料理の独創性10点の4つです。



館長さんによる「ほうせん館」の説明 「バックヤード」の役割わかったかな？ お客さんにも質問しました

2年生「冬野菜を育てよう」上手に植えられたかな？ 収穫は1月



10月11日、2年生の生活科で大根の種まきとブロッコリーの苗を植えました。野菜ボランティアの皆さんも早朝から学校に駆けつけ、子供たちに種の蒔き方や苗の植え方について説明してくれました。子供たちもボランティアの皆さんに教わりながら丁寧に作業をしていました。大きな大根やブロッコリーが収穫できるよう、水やりなど子供たちが一生懸命野菜のお世話をしてくれと思います。収穫が楽しみです。



第2回学校運営協議会開催される 吉田町社会教育委員も見学

9月30日、コミュニティ・スクール第2回学校運営協議会が開催されました。協議の中心は「年度前半のコミュニティ・スクール活動を振り返って」であり、特に本年度新たに取り組んだ活動である「クラブの講師を地域の人たちへ依頼したこと」「ふるさと細江ふれあい美術館の開設」について活発な意見が委員から出されました。

クラブ活動では、学校から「昨年度より子供たちが活発に活動し充実した時間がもてた」また、委員からは「クラブの時間をもう少し長くしたい」「子供から力をもらった」「家の方で名前を呼ばれた」などの意見や感想が出されました。

美術館については「子供たちが大変興味を持って見ていた」「『漢字の部首、へんの作品』がワールドルームに通級している子供の漢字の勉強になっている」また、子供たちから「上手だね、私も作ってみたい」「うちのおばあちゃんの作品だ」などの感想が聞かれたという報告がありました。

クラブ活動、美術館開設のいずれも地域の人たちの力なくしてはできないことであり、さらに充実したものにするためにご支援をお願いできればと思います。

また、吉田町社会教育委員の皆さんからも、「学校運営協議会のあり方」「一つの目標を掲げてボランティアの皆さんが活動しようとしている」「ディレクターは地域と学校のつなぎ役という仕事と考えている」「アースランチの企画が素晴らしい、どんな内容か」などの感想や質問を頂きました。

5年生、夢中で掘ったさつまいも 大収穫！



10月14日、5年生がさつまいもの収穫をしました。夢中で掘っている子供たちの姿は微笑ましく収穫の喜びがあふれていました。一人3本ずつ家に持ち帰り、残りは「アースランチフェスティバル」に参加する料理の材料にするそうです。

苗植えの指導やその後の管理までして頂いた望月さん、苗を提供してくれたJAハイナン榛原支店長三輪さん、そして往復の安全、収穫のお手伝いをして頂いた4人のボランティアの皆さんにお礼を申し上げます。



自分で選んで植えた冬野菜の苗 収穫は1月の予定



もう植えちゃったよ！



これでよし、上手に植えられたと思うよ！

10月18日、すこやか学級の皆さんが自分で選んだ冬野菜（ブロッコリー、芽キャベツ、白菜、カリフラワー、レタス、豆）の苗植えと大根の種まきをしました。野菜の苗植えは以前にも経験したので短時間で上手に植えることができました。

子供たちが毎日の水やりや観察を欠かさずやるということです。野菜の成長を身近に感じ、収穫まで野菜の世話をすることは子供たちにとって貴重な体験になると思います。